

全国ビルメンテナンス協会会員企業から期待のホープが登場

# Hope

若菜良子

Yoshiko Wakana

株式会社ケイミックス  
ビル事業本部 設備事業部 設備工事課 課長

松本彩

Aya Matsumoto

株式会社ケイミックス  
管理本部 人事部 主任

佐藤裕佳子

Yukako Sato

株式会社ケイミックスホールディングス  
経営企画部 企画推進室 課長



市場規模4兆円近くに成長しているビルメンの世界。  
そろそろこの仕事や業界のイメージも、  
新しく変えていくべき時期なのではないでしょうか？

—今日は3人の女性社員の方に囲まれてドキドキしてます(笑)。ケイミックスさんでは、女性社員の方々の比率は多いのですか？

松本 いいえ、総合職で言うとな女性社員の比率は3割に満たないですね。弊社では男女問わず積極採用しているのですが、未だにガテン系のイメージがなかなか拭えなくて、女性の入社希望者が少ない年もあります。

若菜 でも、女性が言いたいことを言える社風だと、私は思っています。佐藤 会社全体では、現場で働く管理スタッフやパート、アルバイトの方たちを含めれば、男女比はほぼ半々ですね。

—こちらに伺って感じたことですが、木を使った明るいエントランスの雰囲気から始まり、社内にとっても温かな空気感を感じますね。

佐藤 ありがとうございます。



ケイミックス本社エントランス一角にある「アナログいいね！ボタン」。エントランスに飾られた花を見て癒されたお客さまが、「いいね！」とボタンを投票する仕組み。

——ビルメンテナンスのイメージアップにも積極的なのですか？

若菜 はい、そうですね。社会全体に知名度を上げたいと思います。就活中の大学生が「私、ビルメン希望です」という声はまだまだ少ないと感じています。むしろ「ビル管理とか、ビル清掃やってみよう」と大学生などに言ってもらえないような企業がもっと増えていかないといけないと思っています。たとえば十数年前のコンビニ業や配送業などもそうだったと思います。でも、今のような職業イメージではなかったと思います。でもそれぞれの企業の努力とともに知名度の向上にも努めてきて、職業イメージが見直されてきました。

——スーツタイプのワークウェアが登場したり、清掃の制服イメージも年々変化してきてます。

若菜 そういったイメージアップの努力は、継続しないといけないと思います。以前、皆で話してたんですけど、TVドラマなどメディアの影響も強いと。

松本 何かを覗き見する配役としてクリーンクルーが登場して、そこで事件に巻き込まれてしまう(笑)。

若菜 そういふのじゃなく(笑)、キラキラした若手の俳優がクリーン



ビルメンテナンステナンスという職業のイメージを変えたい。  
この業界の知名度をもっと上げたい。

ケイミックス本社はきれいに磨かれた木の床と壁がとても明るく、温かな雰囲気にも包まれたオフィスだ。本誌の取材撮影中も、管理職の方をはじめ数名の男性・女性社員の方たちが笑顔で現れ、優しく声をかけてくれた。会社のムードがよく分かる。

ンクルーを演じて、清掃自体をもっと明るいイメージで、仕事の内容や技術力、日々の出来事が分かるような形で…。で、ビルメンテナンスの仕事に関心をもってもらおう。ツイッターの関心事の上位にもビルメンテナン스가出てくるような。——そういったビルメンのイメージアップのために、弊誌の昨年8月号「BMウーマン」でもご紹介させていただいた、御社の「なでしこ会議」という若手社員の方たちの活動が行われている？

佐藤 「なでしこ会議」について

INTERVIEW WITH

Hope

佐藤 「なでしこ会議」自体も、そのロゴマークを相談役だった杉

山恒太郎氏（日本を代表するクリエイティブディレクターの一人）にデザインしていただいたこともあって、リクルート用にもたいへん役に立っています。そしてそういった外に向けた活動の他に、内部的にはグループの社内報になでしこ会議が担当するコーナーがあったり、月に一度、ジャーナルという「かわら版」を発行したりしています。社内報では現場で働くさまざまな職種のキラリと光る技術を持つている人材を誌面に紹介しており、現場で働く皆の顔が見え、それぞれの活動を確認すること、お互いに意識を高め合う取り組みも行っていきます。

若菜 ビルメンテナンスのイメージアップということでは、弊社だけでなくこの業界全体で社会に対するイメージアップにもっと取り組んでいって欲しいなという気持ちもありますね。

松本 この業界全体は、以前まで市場規模が3兆円だったものが、現在は4兆円近くにまでなっていますよね。そんな中で、最近、東京ではビルメンテナンステナンス企業が社会の役に立っていることを知らせてくれるTVCMが流れることも増えてきて、ビルメンテナンスのイメージを向上させてくれている

なと思っています。そういったものが出てきてから、明らかにビルメンテナンスを意識して、ビルメンテナン스에興味を持って就活に臨んでくる学生も増えてきました。

——それはすごい。どんな学生が多いのでしょうか？

**佐藤** 以前はベンチャー志向の学生が多い時期がありましたけれど、経済変動や震災なども経て、今は「安定」を重視する学生が増えていて、長期的な視点で建築物を維持管理していくビルメンテナンスを業を目指して来るといった人たちも出てきていますね。

——ビルメンの新しいイメージは、ビジネス面でも強化していきたいですね。

**若菜** 建築物全体の資産価値をどう維持して、どう上げていくか、また、快適な環境を提供する仕事はビルメンテナンズです。私の所属しているのは設備事業部ですが、そこでは省エネ提案や、規模の大小を問わず必要な修繕を行います。それらの長期・中期の提案とともに重要なのが、設備や清掃などの日常管理業務です。日常の管理が行き届いていなければ、建築物の品質は明らかに悪くなっていきますから。それらが全部一体になっている極めて重要な仕事はビルメン



1. 会社の課題に対する解決策を、若手社員たちで作ると楽しいかもしれないの思いから発足した「なでしこ会議」。活動を広げ、社内に分たちの存在をアピールしていくために、スローガンやホームページを作り、朝活セミナーなども実施。独自の活動報告を社内報にも掲載し、成果を上げている。2. 「なでしこ会議」の発案で、「清掃男子」というユニークなキーワードを使って、クリーンクルーのイメージアップも進めているケイミックス。本社エントランスのサインージでもPR。3. 会社のエントランスは、企業の考えやイメージを伝える大切な場所だ。この空間も、「なでしこ会議」がケイミックスの創業65周年を記念して企画したもの。4. ケイミックスでは毎年新卒採用を積極的に行っている。「4年間で一人前の人材に育てる」という教育方針の基、若年層教育として年間を通して様々な研修を実施している。

### Corporate Information

#### 株式会社ケイミックス

[本店] 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5  
 [本社] 〒104-0031 東京都中央区京橋2-5-7 (日土地京橋ビル) [TEL] 03-3566-3700  
 [FAX] 03-3566-3720 [設立] 昭和28年4月  
 [代表取締役社長] 橋本圭史 [従業員数] 676名 (2018.3.31現在 / パート・アルバイト除く)  
 [営業品目] 建物総合管理事業、道路総合管理事業、飲食物販事業、不動産事業、介護事業  
 [URL] <https://www.kmix.co.jp/>

ンテナンズだと思っています。

**佐藤** 清掃部門に関しては新たな営業支援システムを導入し、さまざまな現場のデータや各自の提案書などのスキルも皆でデータを共有化することで、営業力の全体的な強化も進めています。

**松本** ビジネスや組織を強化・活性化させるためにも「新人」を採用し続けることが大切だと思います。〃育てる〃風土が社内に浸透するからです。人で成り立っている事業であるからこそ、技術力の向上だけではなく、優秀な人材へと育て上げていく、組織単位での誠実さが重要だと感じます。

——なるほど、組織全体での「育てる風土」は、確かに重要ですね。今日はありがとうございました。